

# 愛・地球博記念公園設計技術協力業務

## 審査講評

2019年10月31日

愛・地球博記念公園設計技術協力業務に関する

提案書等評価委員会

## 1 委員会の目的、所掌、審査方法、構成について

### (1) 目的

愛・地球博記念公園設計技術協力業務に関する提案書等評価委員会（以下「委員会」という。）は、公共工事の品質確保の促進に関する法律（平成17年法律第18号）第18条に規定する「技術提案の審査及び価格等の交渉による方式（うち技術協力・施工タイプ（ECI）」により事業者を募集するに当たり、公正性、透明性及び客観性を確保して事業者から提出された提案書を評価し、また、事業費の妥当性について評価するために設置されました。

### (2) 所掌

委員会は、次の事項を所掌し、第1回及び第2回委員会において、アを実施しました。

ア 提案書の評価方法等を定めるとともに、提出された提案書の評価を行う。

イ 優先交渉権者から提出された事業費の妥当性の評価を行う。

### (3) 審査方法

審査は、第一次審査として参加資格の有無を判断する「資格審査」、第二次審査として提案内容を評価する「提案審査」の2段階にて実施しました。

### (4) 構成

委員会は、学識経験者等3名、実施設計受託者2名及び県職員1名により構成されました。

なお、委員の氏名は、全ての工事請負契約後に公表します。

## 2 優先交渉権者選定までの経緯

2019年7月1日 委員会（第1回）

〃 7月3日 公募プロポーザル方式による募集開始

〃 7月11日 手続きに関する説明会

〃 7月12日 手続きに関する質問提出期限

〃 7月17日 手続きに関する質問回答の公表

〃 7月31日 参加書類の提出期限（3者提出）

〃 8月9日 質問提出期限

〃 8月21日 質問回答の公表

〃 9月2日 提案書の提出期限（2者提出）

〃 9月13日 委員会（第2回）

## 3 審査の経過

### (1) 資格審査

参加書類の提出期限までに3者から参加書類の提出があり、県は、提出された参加書類をもとに募集要項に記載する参加要件及び資格要件の具備を確認しました。その結果、すべての応募者が参加資格を有することが確認されました。

### (2) 提案審査

ア 提案書の提出

参加者3者のうち1者が辞退し、提案書の提出期限までに2者の提案書を受理しました。

イ ヒアリング

第2回委員会において、2者の提案内容について、それぞれにヒアリングを実施しました。ヒアリングは、提案内容に関するプレゼンテーションを15分、質疑応答を約15分により実施しました。

ウ 提案内容の評価

ヒアリングを踏まえた上で、各委員の評価点の平均値により、委員会としての評価点を決定しました。

表1 評価項目

評価項目	様式	評価基準
実施体制・類似業務実績 (配点5点)	様式14	本業務を技術提案・交渉方式で実施するための実施体制
	様式15	配置予定技術者の国・他自治体における技術提案・交渉方式の受託実績
	様式16	会社としての国・他自治体における技術提案・交渉方式の元請けとしての受託実績
	様式17	過去10年間における会社としての、博物館、美術館及びテーマパークの施設の新築又は延べ面積3,200㎡以上の大規模な修繕又は大規模な模様替えの元請けとしての実績(平成21年4月1日以降に契約し、完成したものに限る。)
社会的取組 (配点5点)	様式18	環境に配慮した事業活動
		障害者等への就業支援
		男女共同参画社会の形成
		仕事と生活の調和
業務理解度等 (配点37点)	様式19	業務の理解度について、次の視点から記載してください。 ・技術提案・交渉方式に対する理解度 ・現地条件及び与条件に対する理解度
	様式20	実施設計期間中におけるコストマネジメントに対する考え方とその方法(ターゲットコストを超過した場合の対応方法(過去の実績を踏まえて、具体的に記載してください。))
	様式21	工事費積算の妥当性、透明性の確保に関する考え方(県に対して、工事費積算の内訳をどのように開示するか。)
具体的な業務内容 (配点38点)	様式22	国内外の伝統的な工法(金物を使わない在来軸組工法やハーフティンバー工法)で建築物を建築した経験や実績を踏まえて、スタジオジブリの持つアニメーション作品の世界観を現実世界により忠実に表現するための提案をしてください。
	様式23	次の視点から、ジブリの大倉庫エリアについて提案してください。 ・大空間における維持管理コストを考慮した、快適な室内環境の確保 ・大空間における維持管理コストを考慮した、換気方法
	様式24	次の視点から、既存のプール棟の改修に伴う部分的除却工事について提案してください。 ・躯体の除却工事の工法、仮設計画 ・天井の除却工事の工法、その後の工事も考慮した仮設計画(足場等) ・工事中のスケート場利用者の安全確保
	様式25	愛・地球博記念公園を供用しながら工事を進めるにあたり、利用者に配慮した動線計画や工事ヤードなどの考え方を具体的に記載してください。また、青春の丘エリアにある既存のEVを改修する際、利用者の負担を最小限とする計画を提案してください。
地域経済等への配慮 (配点5点)	様式26	県産資材の活用など地域経済への貢献内容について具体的に記載してください。
VE提案 (配点10点)	様式27	本体工事を実施する際のVE提案が可能な項目について、具体的内容を提案してください。
(総合得点100点)		—

#### 4 評価結果

##### (1) 提案書提出者

- ・受付番号【12】番：鹿島建設株式会社 中部支店
- ・受付番号【34】番：清水建設グループ  
(代表企業) 清水建設株式会社 名古屋支店  
(構成企業) イビデングリーンテック株式会社 名古屋営業所  
岩間造園株式会社

##### (2) 評価結果

委員会が提案書の評価を行い、結果は表2のとおりとなりました。

表2 評価結果

評価項目	配点	受付番号	
		【12】	【34】
実施体制・類似業務実績	5点	5.00点	5.00点
社会的取組	5点	4.00点	4.50点
業務理解度等	37点	32.46点	29.98点
具体的な業務内容	38点	32.18点	31.12点
地域経済等への配慮	5点	4.40点	3.80点
VE提案	10点	8.60点	6.80点
総合得点	100点	86.64点	81.20点

##### (3) 優先交渉権者の選定

委員会より評価結果の報告を受け、県は総合得点が最上位である【12】を優先交渉権者に選定しました。

## 5 審査講評

講評は、評価項目の様式ごとに行います。

### 業務理解度等

#### ○様式 19

県が最適な仕様を設定出来ない工事である事を理解し、いずれの提案も仕様を特定していくプロセスが提案されていました。また、現地を良く調べられている事が伝わってくる内容でした。

【12】は、使用確定のプロセスとして、実物やサンプル、3D等を活用していく点、ファストトラック方式を有効活用していく提案を評価しました。

【34】は、仕様確定のプロセスとして、BIMを活用した3D、模型等を活用していくという点を評価しました。

#### ○様式 20

いずれの提案も、コスト増加要因を整理した上で、それに対する有効な対応方針、また、VEを中心とした技術協力期間中のコストマネジメントに関する考え方等が提案されました。両者の施工ノウハウによる提案のレベルの高さが伝わってくる内容でした。

【12】は、コストコントロール効果の大きい初期の段階に、仕様の確定やVE提案を重点的に行っていく点、コストマネジメントに対する会社のバックアップ体制等の考え方を高く評価しました。

【34】は、調達手法の工夫によるコスト抑制の提案や、国土交通省の補助金活用による県負担の低減等の提案が示されました。

#### ○様式 21

いずれの提案も、一般工事と特殊工事に分けて提案されていました。

一般工事については、数量、単価の透明性が確保される提案がされていました。また、スタジオジブリの世界観を表現するための特殊工事については、内訳開示方法について分かり易い提案がされており、工事費積算の妥当性、透明性を担保できる提案として評価しました。

### 具体的な業務内容

#### ○様式 22

いずれの提案も、国内外の伝統的な工法で建築物を建築した経験や実績が示されており、蓄積された高い技術力、施工ノウハウを感じました。しかしながら、それらの技術力、施工ノウハウをスタジオジブリの世界観を表現する事に活かされてない点に少し物足りなさを感じました。

【12】は、スタジオジブリの世界観を高いレベルで表現するため、関係者間の認識共有、合意形成の仕組みの提案について評価しました。

【34】は、スタジオジブリの世界観が表現できているかを確認するための方法、アニメーションを現実世界に表現する際の専門技術者の配置やIT技術を用いた意思決定方法の提案について評価しました。

#### ○様式 23

いずれの提案も、使用エネルギー削減の提案がされました。

【12】は、シミュレーションを基にした具体的な提案内容を評価しました。

【34】は、IT技術を用いた外気負荷低減やエネルギーの最適化の提案が示されました。

#### ○様式 24

既存のプール棟内部除却工事について、いずれの提案も、既存の躯体に影響が少ない工法が提案されました。また、除却工事中的アイススケート場利用者及び周辺の利用者に対する安全性の確保について、しっかりと検討されている事が伝わってきました。

【12】は、既存の躯体に対する重機の誤接触防止対策や独自に開発された粉塵対策設備の提案等、今回の撤去工事の特徴を理解された上での提案について評価しました。

また、ファストトラック方式を活用した除却工事の仮設計画についても、現地を良く理解し検討されており、提案の技術力、ノウハウを評価しました。

【34】は、プール棟内部除却に伴う粉塵対策は、公園利用者にとっても配慮されており、安全及び環境面の観点で評価しました。さらに、コストの観点について検討されると、より良い提案になったと思われれます。

また、IT技術を用いた、公園利用者の安全確保や作業員の安全確保などの提案を評価しました。

#### ○様式 25

いずれの提案も、愛・地球博記念公園を供用しながら工事を進める事を十分に理解し、工事車両の動線や工事ヤードについて、公園利用者への配慮が感じられました。

また、エレベーター棟の改修に伴う公園利用者への配慮の方法は、両者異なっていましたが、どちらの提案も現地の状況を理解され有効な提案と感じられました。

【12】は、工事の工程を踏まえて、工事車両の動線がしっかりと検討されており評価しました。

【34】は、公園利用者への安全対策として、ソフト面での対策も含め、きめ細かく対応する提案を評価しました。さらに、利用者数を調査された上で検討されると、より良い提案になったと思われれます。

#### **地域経済等への配慮【様式 26】**

いずれの提案も、県産木材の活用、県内業者の活用を予定しており、地域経済に配慮した提案でした。

【12】は、県内企業の活用に対する細かな配慮の提案があり評価しました。

【34】は、県内の優れたモノづくり企業に呼びかけ、地域の材料を活用するという提案が示されました。

#### **VE提案【様式 27】**

いずれの提案も、基本設計相当資料を基に、提案者の施工ノウハウを踏まえたVEが提案されました。

【12】は、スタジオジブリのアニメーションの世界観を大切にした上で、機能を確保しつつコストを低減する提案、ライフサイクルコストを考慮した機能向上の提案など踏み込んだVE提案等が評価されました。

【34】は、意匠や設備に関するコストを低減する提案が示されました。

## **6 総評**

いずれの提案も、100点満点中80点以上の高得点であり、高い提案力と熱意、努力に対し深く敬意を払います。

委員会においては、提出頂いた提案書、プレゼンテーション、ヒアリングを踏まえ評価基準に基づいて厳正かつ公正に評価を行いました。

その結果として、【12】の提案は、ジブリ作品の世界観を現実世界に表現するという強い意気込みが感じられた事、またコストマネジメント手法が効果的な内容でした。

【34】の提案は、現地の状況の把握、ジブリ作品の世界観を表現するという点で【12】と比べ少し理解、調査、検討が不足していました。

なお、今回優先交渉権者に選定された【12】の提案に対しては、次の諸点について更なる配慮、検討をして頂きたいとの意見がありましたので、これらの点を考慮し、県、スタジオジブリ、実施設計者と一体となって世界中のジブリ作品のファンの方々を魅了できるよう本事業の更なる向上に努めるよう要望します。

- コストマネジメントについては、設計技術協力の業務期間が5ヵ月半と短いことから、仕様の確定はもちろんのこと、早い段階より積極的にVEを提案し、コスト意識を高く持つこと。特に、ファストトラック方式を活用するプール棟先行除却工事においては、検討期間がとても短いので、工法、仮設計画についてVE提案、工事計画策定をすぐに行うこと。
- 工事費の妥当性、透明性については、共通仮設費、現場管理費について透明性の確保の方法を検討すること。  
また、特殊仕上げ工事について、専門工事業者3者以上から見積もりを取るなど可能な範囲で行うこと。
- ジブリの大倉庫内の環境について、湿度管理の手法、自然光を考慮した光環境の検討を行うこと。  
また、夏場のジブリの大倉庫の環境について、空調設備の負荷を減らすハード面の対策を検討すること。
- ファストトラック方式を活用した、プール棟の先行除却工事について、計画の内容を県、公園管理者と十分に協議し、公園で開催されるイベントや日常の公園利用者に配慮すること。  
また、先行除却工事は、1月より着手可能なため、提案より工期を3か月長くすることが可能なことから、安全面、コスト面でさらに効果的な工法の検討を行うこと。
- エレベーター棟の改修の際の公園利用者のバリアフリー動線について、利用者の負担低減をさらに検討すること。
- ジブリの世界観を大切にしながら、御社に蓄積された施工ノウハウ等から、事業費を縮減するために必要なVE提案を行うこと。

最後に、提出をいただきました提案書は、いずれも本事業及び本業務の趣旨を十分に理解した内容であり、短い期間のうちに現地を調査され目的を明確にとらえた事業提案をまとめられたことについて、その積極的な姿勢と熱意を高く評価しております。重ねてここに深く感謝を申し上げます。

令和元年10月31日  
愛・地球博記念公園設計技術協力業務に関する提案書等評価委員会 委員長